

2021
No.226

職員撮影 風景／世羅高原

今
号
の
内
容

- 新しいスタート
- もやもや病
- 発表論文のご紹介
- 新入職員を迎えました
- 退任の挨拶
- 新任医師紹介
- 学術活動 1月～3月

📶 当院ではWiFi 無料インターネット接続サービスがご利用いただけます。ご希望の方は受付までお問い合わせください。



新しいスタート



脳神経外科部長 相原 寛

新型コロナウイルス感染症(以下コロナ)発生から1年以上が経過し、広島県内の感染数に波はありますが低い数字で抑えられているようです。しかし、完全に収束したとはいいがたく、いつ広島で感染者数が増加するか分かりません。今までは3密の回避、手洗い、マスクなどの古典的な対策で耐え忍んできましたが、ついにコロナ収束に向けて新しいスタートを切るため、いよいよ広島県内でも一部の医療従事者からコロナに対するワクチン接種がスタートしました。

ワクチンに関して多くの方が気になることといえば副反応でしょうか。アナフィラキシーなどの重大な副反応発生の報道もあります。当然、他のワクチンなどと同様に副反応が全くないわけではないでしょう。しかし、重大な副反応に関しては特別多いわけではないようです(ただ、インフルエンザワクチンよりは痛いようです・・・我慢、我慢)。また、当院の利用者に多い、脳疾患の既往のある方や血液サラサラの薬を飲んでいる方への接種も現時点では特に制限はないようです(新しいワクチンなので良くも悪くも新しい知見が出てくるとは思いますが)。

ワクチンを接種すればウイルスをせん滅できるわけではありませんが、多くの方が接種することで感染の蔓延を防ぐことはできると思います。また重症化や死亡率低下といった効果も期待できるようです。ワクチン接種はご自身のためにもなるかもしれませんが、それ以上に家族などの大切な人を守るためにも接種を前向きに検討することをお勧めします。当院職員への接種は4月中旬から下旬になりそうですが、可能な限り積極的にワクチン接種を受け、当院を利用される方を守っていきたくと考えています。

本来なら春は進学や就職などで新しいスタートをきる時期であり、暖かくなり行動的(花見、運動、旅行、ダイエット?)になる季節であったはずです。コロナに縛られることなく新しいスタートが切れる日が来ることを願っています。

もやもや病

脳神経外科医長 大仲佳祐

<もやもや病とは>

「もやもや病」という病名を聞いたことはあるでしょうか。歌手の徳永英明さんがこの病気であることを公表されているので、それで名前は知っているという方が多いかも知れません。実はもやもや病は日本人に多いことが知られており、我々脳外科医もよく出会う病気です。もやもや病がどういう病気かと言うと、一言でいえば「頭の中の正常な血管がだんだん細くなっていく病気」です。生まれた時は正常ですが、年を取るにつれて徐々に血管が細くなっていきます。それにともない、もともとは目立たなかった毛細血管が脳の血流を補うために発達し、それが脳血管撮影検査という検査でもやもやと見えてくるので「もやもや病」と言う名前がついています。(図1)

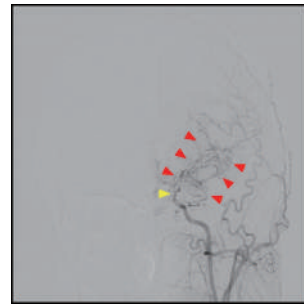


図1.もやもや病の脳血管撮影検査画像(左総頸動脈撮影)。

内頸動脈の終末部が狭窄し(黄矢頭)、もやもや血管が発達している(赤矢頭)。

<もやもや病の症状>

正常な血管が細くなっていくのに、もやもや血管の発達が不十分で血流をうまく補えないと、脳の血流が足りない状態になり、四肢の脱力やしびれ、言葉が出ないといった症状が出てきます(一過性脳虚血発作、脳梗塞)。もやもや病では子供の頃にこういった症状が出ることも珍しくありません。

逆に、もやもや血管がうまく発達すると、症状が出ないまま(もやもや病に気がつかないまま)成人になります。しかし、このもやもや血管は普通の血管より脆いため、破れて脳出血の原因となることがあります。

<もやもや病の治療>

脳の血流が足りないために症状が出てきた場合は、脳の血流を増やす手術を行います。具体的には、頭皮の血管を脳表の血管に直接つなぐ直接バイパス術と、側頭筋という側頭部にある筋肉を脳表に接触させることでそこから血管が新たに生えるという間接バイパス術を同時に組み合わせて行います。

脳出血を起こしてもやもや病が見つかった場合は、直接バイパス術を行うことで再出血をある程度予防できることが知られています。

当院ではもやもや病に限らず十分に術前検査を行い、病気の状態に応じて適切な治療法をご提案しています。また、開頭手術は原則髪を剃らずに整容面にも配慮して行っています。何か気になる症状がある方はいつでもお気軽にご相談ください。

発表論文のご紹介

臨床検査部主任 西野真佐美

この度、日本臨床衛生検査技師会の会誌である医学検査 Vol.68 No.3(2019)に「MMSE と時計描画テストのスコアリングは認知症診断 精度を向上させる」という論文が掲載され、「日臨技学術奨励賞 特別奨励賞」を受賞いたしましたので、ご報告させていただきます。

本論文では、当院外来にて時計描画テスト (Clock Drawing Test; CDT), ミニメンタルステート検査 (Mini-Mental State Examination; MMSE) とともに実施された患者さんを対象に、CDT スコアリング (Freedman 法) の有用性や、疾患ごとに特徴的な失点パターンがみられるか検討を行いました。CDT や MMSE は認知症を医師が診断する上で必要となるスクリーニング検査です。

検討した結果、CDT スコアリングは MMSE を併用して行うことで感度を上げることができ、MMSE と有意な相関がみられ評価の妥当性が示されました。また、疾患によって失点パターンに差異がみられることから診断の一助になりうる可能性が示唆されました(図1～4)。

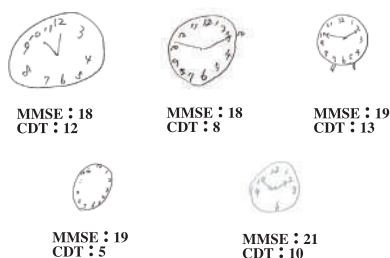


図1 : アルツハイマー型認知症患者の時計描画
「針に間違いがあるもの」が多い結果となった。

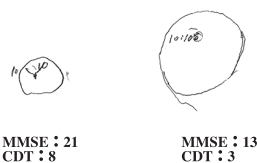


図2 : レビー小体型認知症患者の時計描画
「数字に間違いがあるもの」が多い結果となった。



図3 : 血管性認知症患者の時計描画
「数字に間違いがあるもの」が多い結果となった。

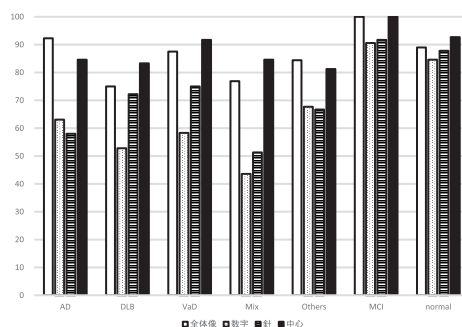


図4 : Freedman法下位項目での検討
疾患ごとにおける「数字」の得点(左)と「針」の得点(右)をグラフに示す

今後とも、患者さんからいただく貴重な検査データを日々考察し「より良い検査」として提供できるよう、精進していきたいと思っております。最後になりましたが、論文執筆という貴重な機会をいただき、ご指導を賜りました先生方や臨床検査部の皆様へ深く感謝いたします。

新入職員を迎えました

令和3年4月1日に入社式を行い、医師2名、看護師14名、准看護師3名、看護補助者1名、理学療法士3名、作業療法士2名、臨床検査技師1名の計26名が入職いたしました。
皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



退任の挨拶

2021年3月末で梶川病院を退職することとなりました。4年間、たくさんの患者さんを担当させていただきました。少しでも皆様のお役に立てられたのであれば幸いです。一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。



脳神経内科医長
松島勇人

3月末で退職することとなりました。1年という短い期間でしたが、多職種スタッフのサポートにより、多くの患者さん、ご家族の皆様に関わらせていただき診療が行えましたことを感謝いたします。当院で経験させていただいたことを今後の診療に活かしていきたいと思っております。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



脳神経内科医長
原直之

新任医師紹介

4月から脳神経内科で勤務いたします下村 怜と申します。翠清会梶川病院で、診療に携わることができることを嬉しく思います。まずは、新しい環境に慣れ、脳卒中を中心とした医療に貢献できるよう精進してまいります。よろしくお願いいたします。



脳神経内科医長
下村 怜

4月より脳神経内科で勤務させていただきます志賀裕二です。3月までは広島大学で臨床研究を中心に業務をおこなってまいりました。これまでに得られた知識、経験を活かして臨床の現場でも活躍できるように日々精進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



脳神経内科医長
志賀裕二

学術活動 1月～3月

2月19日
第11回 Knack&Pitfall Club in Neurology
脳神経内科部長 今村崇次 座長

2月28日
第38回広島県医学検査学会
症例検討会 貧血の原因は？
臨床検査部 福田雅子

3月11日～13日
第46回日本脳卒中学会学術総会
血栓回収術を施行した Sinus Thrombosis の一例
脳神経外科副部長 岡田朋章

発症4.5時間以内で入院した心原性脳塞栓症患者の転帰に関わる因子の検討
脳神経内科医長 原直之

直達術によって治療した内頸動脈 Blood blister-like aneurysm 破裂によるくも膜下出血の2例
脳神経外科医長 大仲佳祐

脳血管障害患者に行った心電図非同期胸部 CT による冠動脈カルシウム簡易評価法の検討
放射線部 佐々木大樹

リハビリテーション領域における脳梗塞 BAD の臨床経過とアウトカムについて～テント上下病変を比較した検討～
リハビリ部 田原稔也

脳卒中データバンク2021 108-110頁
脳出血の外科治療
脳神経外科医長 大仲佳祐

当院在籍中に執筆し、今年採択された論文
J NeuroInt 3月発行
Association between stroke lesions and videofluoroscopic findings in acute stroke patients
脳神経内科医長 中森正博

医療法人 翠清会 翠清会梶川病院

TEL : 082-249-6411 FAX : 082-244-7190
〒730-0053 広島市中区東千田町1丁目1-23
<http://www.suiseikai.jp>

アクセス情報

- 広島電鉄路面電車
【日赤病院前】下車 徒歩 約7分 ※日赤病院前下車後、東千田公園を通り抜け可能
- 広電バス
7号線【国泰寺町2丁目】下車 徒歩 約5分
12号線【南竹屋町】下車 徒歩 約5分
- 広島バス
21-1号線【日赤病院前】下車徒歩 約7分
21-2号線【日赤病院前西】下車 徒歩 約13分
50号線【竹屋町西】下車 徒歩 約5分
- お車で越しの方は 広島駅から約10分

